

さくら

-SAKURA-

令和6年11月1日

NO. 83



地域貢献活動 ～宮島工業高等学校～

宮島工業高等学校

令和6年6月8日(土)、6月9日(日)小田島公園やまだ屋もみじファミリーパークで大野みんなの祭りが開催されました。毎年、建築科3年生を主体に地域の子もたちに喜んでいただけるように宮工ブースを企画しており、祭りを彩るゲート、アスレチックやオブジェを生徒の力で作りあげています。本校は、地域貢献活動に力を入れており、機械科、素材システム科、電気科、情報技術科、建築科、インテリア科の6科すべての学科が企業や大学等と連携を取りながら、教育活動を進めています。

特集

第10回 議会報告会

CONTENTS

特集	… 2	委員会視察報告	
主な議案	… 4	決算特別委員選任	… 16
一般質問	… 6	意見書・議決結果	… 17
議員全員協議会	… 15	キラリ! はつかいちの高校生	… 18



第10回 議会報告会

今年度は、各地域（廿日市3か所、大野2か所、佐伯・吉和・宮島各1か所）での報告会に加え、議員全員が出席する「全体会」をあいプラザで開催しました。多数の方々にご参加いただき、ありがとうございました。また、各地域会場においても、地域課題など有意義な意見交換ができました。皆様からいただいたご意見は、所管の各委員会において対応を話し合っていきます。今回は、ご意見の一部を紹介します。

全体会

7月15日

参加者46名

あいプラザ

意見・質問

- 新機能都市開発事業は環境・災害が心配。
- 包ヶ浦の高級ホテル誘致は地元の方々が反対しているのになぜ進めるのか。
- 米軍機の夜間の騒音がうるさい。宮島上空を通らないように強く抗議を。
- 学校給食費の無償化を進めてほしい。
- シビックコア地区整備はもっと長い検討期間が必要では。
- 兄弟姉妹で別の保育園に行かざるを得ない。これ以上公立保育園を減らさないでほしい。
- 保育園の会計年度任用職員報酬が低い。改善を。
- 玖島から原へ泉水峠を通る道路の早期開通を望む。
- 佐伯総合スポーツ公園は、陸上競技場をサッカー場に変えたため記録会がでなくなつたので考えてほしい。



全体会会場

地域別

8月7～9日

〈担当〉総務常任委員会

津田市民センター

テーマ「佐伯総合スポーツ公園の整備状況と中山間地域の活性化について」

参加者14名

意見・質問

- 佐伯総合スポーツ公園（以下スポ公）に、上まで行ける駐車場を。
- スポ公方面へ県道からの右折レーンが必要。
- スポ公体育館に空調が必要。

● スポ公野球場を佐伯高校に優先的に使わせてもらえないか。

● 佐伯消防署移転後の跡地活用は。

● さいき文化センターは西日がきつい。ブラインドを設置できないか。

宮園市民センター

テーマ「新機能都市開発推進事業と未来物流産業団地造成事業について」

参加者24名

意見・質問

- 新機能都市開発関連
- 土砂流出の対策は。
- 市の負担額は。
- 観光交流ゾーンに年間40万人来場想定は根拠は。
- 未来物流産業団地関連
- 宮園住民は、周辺道路の慢性渋滞や安全面などが心配。市主催の説明会で要望したが、フィードバックがない。
- スマートICへの山陽自動車道の接道は4車線化してほしい。

〈担当〉文教厚生常任委員会

平良市民センター

テーマ「子育てしやすいまちづくり」

参加者22名

意見・質問

- 1学級17人いないと複式学級になる。人数の条件緩和はできないか。
- 見守り隊の高齢化が問題。子どもの遊び場、居場所づくりと支援を。
- 留守家庭児童会は熱中症アラートが出ると、長時間部屋に閉じ込められてしまう。
- 子どもが主役のまちづくりであれば、子どもが意見を言える体制を。
- 市内に音楽系で借りられる施設がほしい。

吉和ふれあい交流センター

テーマ「子育てしやすいまちづくり」

参加者3名

意見・質問

- 学校への冷水器は機種選定の参考にするため別の機種も設置すべきでは。

- 子どもが熱を出した時に預る施設や病院は。
- 母親の困りごとの受け皿を作ってほしい。

〈担当〉環境産業常任委員会
まるくる大野

テーマ「ゼロカーボンシテイユツユツ」

参加者6名

意見・質問

- ^{*}ブルーカーボンのために市内でCO₂を吸収できる干潟などの面積は。
- 地熱など、太陽光発電以外も視野に入れて検討を。
- 市が契約していた電力会社は経営破綻した。今回の新電力会社設立は不安。
- 農業振興もゼロカーボンの一つだと思つ。

etto宮島交流館

テーマ「ゼロカーボンパークについて」

参加者18名

意見・質問

- グリーンスローモビリティ(以下グリスロ)は交



etto宮島交流館

通渋滞を引き起こす可能性がある。地元の意見を聞くべきだ。

●年配の方などの交通手段にグリスロの活用を考えしてほしい。

- 弥山の環境整備ができていない。案内看板が行き届いていない。

- 井戸の掃除、水質検査の費用の補助を。井戸水をお客様にも提供したい。
- 包ヶ浦自然公園は利用できるのに「閉園」の看板が出されている。

〈担当〉建設常任委員会

阿品市民センター

テーマ「広島岩国道路の料金割引による渋滞緩和施策社会実験について」

参加者12名

意見・質問

- 広島道を早く無料化してほしい。
- 沿岸部の幹線道路は津波で通行不能になる。高所へバイパスを整備できないか。
- 廿日市・大竹間の割引はできないのか。
- 廿日市消防署は津波で浸水するので高所へ建て替えてできないか。

大野西市民センター

テーマ「おおのハートバスの再編について」

参加者3名

意見・質問

- バスの経路が分かりにくい。バス停の表記もわかりにくい。
- 宮島口から青葉台に上がるバスがなくスーパードルに行けない。

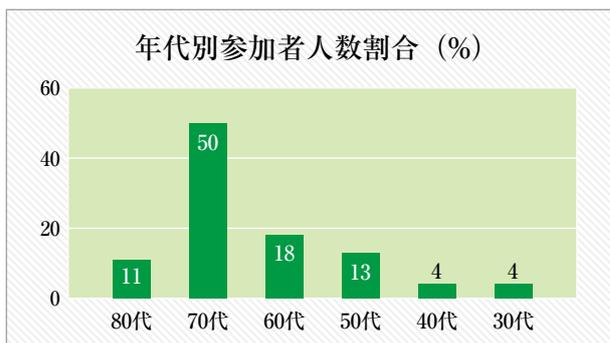
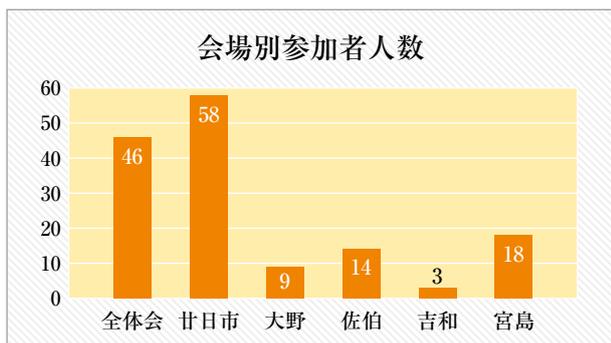


阿品市民センター

- サンランド、聚楽山荘、沖塩屋は片側にしかバス停がなく不便。

そのほか

「市が行うような報告ではなく、議会の考えや動きを説明してほしい。」「議員・市役所と市民の間にはギャップがあり住民の意見は届きにくいと感じた。」など、報告会の在り方や議会の姿勢についてのご意見もいただきました。課題として取り組んでいきます。



9月
定例会

廿日市市の こんなことが決まりました

会期17日間 9月10日～9月26日

今号では
この中から
3つを

Pick up

議案の状況

令和6年度補正予算

一般会計・特別会計 …… 3件

条例案

廿日市市国民健康保険条例の
一部を改正する条例など …… 6件

発議

国による学校給食費無償化を
求める意見書など …… 2件

その他の事案

工事請負契約の締結についてなど …… 3件

同意

人権擁護委員の推薦につき意見を
求めることについてなど …… 2件

報告

専決処分事項など …… 8件

承認

議員派遣について …… 1件

閉会中の継続審査

令和5年度決算認定 …… 11件

閉会中の調査

所管事務調査 …… 1件

計37件

Pick up 1

もみのき森林公園協会

40年の歴史に幕

〈報告第14号〉市が資本金の2分の1以上を出資している法人の経営状況説明書について

毎年9月定例議会初日には、市が資本金の2分の1以上を出資している4法人の経営状況について説明が行われます。

うち「一般財団法人 もみのき森林公園協会」は、県の令和5年度指定管理者に応募しなかったため、令和6年3月末をもって法人清算に移行し、7月9日の評議員会で清算の完了が承認され、昭和59年の開園からの40年に渡る運営に幕を下ろしました。

なお、清算によって生じた資本金などの処分については、県と市の出資比率に合わせて市に寄附され、今後は吉和地域の活性化に資する財源として活用される予定です。

※次年度以降に報告を受ける法人は、「廿日市市土地開発公社」「一般財団法人廿日市市水産振興基金」「公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団」の3つになります。

こんな質問が出ました

Q 従業員の今後の対応は。

A それぞれの希望に合わせて残留や転職ができるよう取り計らわれており、丁寧に対応していただいている。

Q 協会が解散するということで、県立もみのき森林公園と市との関係は今後どのようなようになるのか。

A 運営面への直接関与はできなくなるが、吉和地域の看板施設であるため、今後も情報交換の場などを活用し関わってまいります。

Pick up 2

緑地面積率緩和

特定工場の活性化を期待

〈議案第67号〉 廿日市市工場立地法地域準則条例

工場立地法の規定に基づき、緑地面積率等を定める広島県準則条例の廃止に伴い、本市で適用すべき準則を定めるものです。産業用地の有効活用、産業振興を図るとして、緑地面積率等が緩和されます。

こんな質問が出ました

Q 新機能都市開発事業で検討している奨励金支給との関係はどうか。

A 支給は4項目のうち3項目達成が必要であり、その一つの緑化率20%以上は変更予定はない。

Q 緩和がなければ企業立地で敬遠されることが想定されるのか。

A 割合が高ければ経費もかかるので、企業はより負担の軽いところを選ぶのでは。

反対討論

大幅な緩和は環境面で大きな後退になる。対象は特定工場。企業は地球温暖化防止対策の社会的責任を果たすべきだ。ゼロカーボンシティ宣言の市としても緩和してはならない。

賛成討論

市内の特定工場22社へのアンケート調査では多くの企業が緑地面積率等の縮小を望んでいる。緩和で本市を選択する可能性が高まるよう時代にあわせた規制にすべき。

区域	緑地面積率	環境施設面積率
準工業地域	10%以上	15%以上
工業地域	5%以上	10%以上
市街化調整区域	10%以上	15%以上

Pick up 3

宮島口周辺渋滞緩和対策

社会実験を継続

〈令和6年度一般会計補正予算第3号〉

宮島口を起点とした渋滞の緩和対策を講じるため、昨年に引き続き、紅葉シーズンの10～11月の土日、祝日に広島岩国道路の廿日市ICと大野IC間を半額（普通車180円→90円など）とする社会実験です。

●宮島口整備事業

広島岩国道路料金割引施策交通量調査等業務委託料

4400万円

こんな質問が出ました

Q 事業の認知度を高める方法は。

A 効果の高かった横断幕は、引き続き設置したい。道路情報の少ない区間は、電光掲示板を設置して周知の強化を図る。また、SNSを活用し、必要なターゲット層へ届ける方法にも注力する。

Q 次のステップをどのように考えるか。

A 混雑が顕著な区間の平均速度が、時速20キロ以上になることを目標とし、広島岩国道路への影響を確認した上で、宮島口交通円滑化協議会で検討していく。



一般質問

一般質問とは？

議員が、市政全般に関して執行者（市長等）にその執行の状況や将来の方向、また住民生活に密接に関わる事項等について質問すること、あるいは政策を提言することをいいます。皆さんの生活に関わる大切な質問です。あなたが関心をもった質問はありますか？

質問議員 24名
質問 48項目

※質問・答弁要旨は質問した議員が書いたものですが、その後、広報広聴特別委員会において校正を行っています。その他の質問については、廿日市市議会ホームページで映像をご覧いただけます。

し、国や県への問い合

答

都市再生整備計画事業の要件も満た

どのように得ているか

る。適法である確認を

に当たらないか懸念す

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

る。適法である確認を

問

平良丘陵開発（新機能都市開発）は、



山田 武豊 議員

造成手法の変更 合法確認を



わせでも適法と判断しており、懸念は及ばないと考えている。

問

他自治体の土地区画整理事業も国や

県と打ち合わせをしな

ら事業を進めている

は。それでも訴訟に

発展し行政敗訴の判例

もある。今後、議会へ

もさまざまな形で議案

として上程されてくる

ことから、司法的知見

の確認を求めたい。

答

行政裁量権の範囲と認識しているが、

司法的知見も確認した

い。

その他の質問

・ハワイ郡への訪問について

・会議の透明性について

問

ひとり親家庭の34%で子どもが夏休

み中に1日2食以下で

過ごしていることが民

間団体の調査で分かっ

た。ほとんどが母子家

庭で7割が小中学生の

いる世帯ということだ

ある。「子どもが主役

のまち宣言」をしてい

る本市として実態を調

査のうえ何らかの対応

が必要と思うかどうか。

答

ひとり親家庭の生活状況の調査は対

面での聞き取りを実施

している。来年度から

聞き取り内容に日々の

食生活の状況を加える

など困りごとをきめ細

かく把握することに努

め、必要な支援に着実

に繋げていきたいと考

えている。

問

若い世代が結婚の希望をかなえられ

る環境整備に向け、若

者から話を聞き、若者

の思いやライフデザイ

ン、出会いなどを考え

る若者による検討会を

つくり、課題を抽出し、

これからのまちづくりに

反映することが必要

と思うかどうか。

答

今後、子どもや若者などの当事者の

意見を幅広く聴取し、

施策に反映させること

が重要であることから

現在、若い世代による

検討会の設置も含め、

その手法について検討

を進めている。

その他の質問

・新電力会社の設立は



岡本 敏博 議員

実態を調査して ひとり親家庭の応援を



廿日市版若者による検討会の設置を



林 忠正 議員

高齢者の公共バス ワンコインでの活性化を



問 本市の自主運行バスは100円から150円

になった経緯もあるが、富山市の「お出かけ定期券」や呉市の「いきいきパス」を参考に70歳以上の高齢者について公共バス運賃を100円にして活性化を図る必要があると考える。呉市がモビリーデイスに移行するが、モビリーデイスを活用することで本市も対応が容易となるがどうか。

答 富山市の「お出かけ定期券」や呉市の「いきいきパス」は、高齢者を対象に公共交通の運賃を100円とする施策であり、高齢者の外出機会が増えることで、高齢者の健康増進に繋がっている。本市

においても、高齢者に対する外出支援は、健康増進のみではなく、まちの賑わいや人・地域との繋がりを育む取組と捉えている。そのため、モビリーデイスとマイナンバーカードを連携し、高齢者割引制度を構築するなど、高齢者自らが外出したいと思っただけよく、うな環境を創出していく。

その他の質問

- ・ 気付きにくい子ども心の不調、SOSの声の受け止めについて
- ・ 市民農園の管理について



梅田 洋一 議員

給食費の徴収に関する 各種負担軽減を



問 令和6年6月、国は学校給食に関する調査結果を発表したが、国としての給食費無償化に向けた進展は見られない。市が現実的かつ段階的に着手できる給食費の徴収に関する負担軽減について、

① 延期していた公会計化の予定は。
② 公会計化した場合、口座振替手数料の負担はどうなるのか。

答 ① 国が学校給食無償化の判断を明確にするまで、引き続き延期する。
② 公会計化した場合は、保育園給食費等と同様に公費で負担できるように調整したい。

せらつプラチナポイントの今後について

問 せらつプラチナポイントの事務負担軽減を目的とした、実証実験中のアプリは令和7年度から稼働できるのか。

答 事務負担軽減を実感しており、利用者の好评価が得られれば、令和8年1月からの実施に向けて検討したい。

問 本格稼働時にはポイント付与対象はボランティアだけでなくウォーキングや健康体操も対象になるのか。

答 高齢者の健康づくりに繋がるものもポイント対象にして広げていきたいと考えている。

その他の質問

- ・ 宿泊税に対する見解



井上佐智子 議員

宮島の観光にユニバーサルリズム導入を



問 本市は一貫して官民一体で取り組んできた実績がある。宮島の観光は「上質な宿泊施設の開発促進」を掲げているが今一度立ち止まり、今後は観光の推進するユニバーサルリズム、いわゆる高齢者や障がい者など誰もが気兼ねなく参加できる旅行の普及・定着へ施策を方向転換してはどうか。

答 「ユニバーサルリズム」は宿泊、飲食、交通など観光に関わるさまざまな取り組みの推進が不可欠だ。方向転換ではなく、すべての観光客に満足いただけるよう、魅力ある包ヶ浦自然公園の利活用を図りたい。

問 身寄りのない高齢者福祉の増進について

① 入院時の対応についてはどうか。
② 入院時の保証人確保などのため「高齢者等終身サポート事業」を社会福祉協議会が担えないか。
③ 「孤独死」の場合多くの担当課が関わりますが、庁内横断対策チームが必要と思うがどうか。

答 ① 「市入退院連携ガイドライン」を作って対応している。
② 現状では担えないが、協議していく。
③ 包括支援センターなど官民で連携して取り組んでいく。

その他の質問

- ・ 高齢者のスキマバイトの推進について



山下 竜太郎 議員

県道30号廿日市佐伯線 について



問 県道30号線、明石付近のカーブで今年5件の事故が起こっており、次の点を問う。



事故多発カーブの現場(令和6年9月)

- ① 県へ道路改良のアプローチをしているか。
 - ② 改良できないか。
 - ③ バイパス道路を整備する考えはないか。
- 答** ①②③県も本市も危険区間の認識はある。現道改良は迂回路が無く、工事渋滞が発生する。トンネル案は難しい。整備計画に

位置付けられるよう工法等を県と協議する。

屋内運動場の空調設備について

問 体育館の空調設置について問う。

- ① 私の昨年9月議会での答弁は「整備手法や財源を研究したい」であった。進捗状況は。
 - ② 補助金の活用で、校舎の長寿命化計画と同時進行はできないか。
 - ③ 教育、避難環境改善のため対応できないか。
- 答** ① 他自治体や専門業者に調査をした。②③コストの面から、今、同時実施は厳しい。安い大風量スポットエアコンを検討したい。来年度、小中学校で空調整備の調査検討を行うよう考えている。



濱本 紀洋 議員

小・中学校の体育館への 冷暖房設備について



問 令和6年8月8日には南海トラフ地震臨時情報が発表された。本市においても大きな災害が発生する可能性が十分にあると一部報道では言われている。大規模災害の発生時には各学校の体育館は避難場所として必ず必要となるが、真夏の猛暑、真冬の寒さの中では避難すれば体調を悪くするため避難場所としては不適切だと思われる。いつ何時でも避難者の受け入れが可能な準備が必要ではないか。災害時はもとより、平時の学校活動にも必要な状況になっていくことから学校の体育館に冷暖房設備が設置できないかを問う。

答 本市では南海トラフ地震が最も大きい災害と想定されており大きな被害が発生した場合小中学校も避難場所として開設することとなる。地球温暖化による異常気象で、熱中症リスクが高まっていることや、南海トラフ地震などによる大規模災害を考慮すると避難場所の冷暖房設備の必要性が高まっている。こうしたことから現在事業実施に向けて有利な財源の研究や、他市町の先進事例の調査、整備順位の考え方などについて検討している。来年度、空調設備の整備に向けた調査検討業務を行いたいと考えている。



佐々木 雄三 議員

包ヶ浦自然公園の利活用 方針の策定について



問 議長より市長に対して十分な説明を行うよう促す旨の申し入れが行われているが、宮島の住民から、未だ十分な説明が市長並びに執行部より行われていないとの声がある。今後のスケジュールについて説明を求める。

答 利活用方針策定に向けて現在準備を進めている。協議会のメンバー以外の参加者について、各団体より3名ずつ選出して、3回程度、さまざまな方を交えた議論の場を持ちたいと考えている。また、新聞報道において地域住民から疑問の声があるとの状況も伺っており、協議に入る前に地域住民の皆さん

に説明する場を早急に設けたいと考えている。今後においても議会説明した内容については速やかに地域住民の皆さんにも情報が行き届くよう、取り組んでいきたい。

包ヶ浦棧橋の施設撤去 並びに跡地の活用方法 について

問 包ヶ浦棧橋の施設を撤去し、跡地にヘリポートが建設されるといふ報道があった。住民に対して大きな誤解を招くことになるが、この点を問う。

答 施設撤去については、廃屋の撤去を申請したもので、観光客用のヘリポートを整備するものではない。



山崎 英治 議員

廿日市市の農業について



問 各地で農事組合やNPOを立上げ耕作を行っているが、団体自体の高齢化も進み後継者もおらず衰退している。一年を通しての収入を得ることが難しく、正規雇用が難しい点からも後継者ができない状況で法人自体が解散の危機にあると思う。ランニングコストが上がるなか、自力での農業経営は困難と思いつの点を問う。

- ① 用水路、隣地雑木の手入れなど農地環境への対応強化はできないか。
- ② 機械購入費、種苗費への助成金の拡充はできないか。
- ③ 法人等の後継者育成に資する新たな支援策

はないか。

④ 米や野菜の販路を市が流通等への応援はできないか。

答

① 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金により、地域の共同活動を支援する制度がある。

- ② 機械等の購入に要する補助金額を3分の1から2分の1に改正し、上限も200万円から300万円に拡充した。
- ③ 法人が新たに雇用する場合に年間最大60万円を4年間支援する制度がある。
- ④ 生産者と実需者とのマッチングを目的に「農水産力カタログ」を作成し市内飲食店などに配布している。



中島 康二 議員

クーリングシエルトの導入について



問 今年6月、本市でもクーリングシエルトとして、市役所や市民センター等35の公共施設を指定した。「熱中症警戒情報（旧熱中症警戒アラート）」とは別に、極端な高温時に備え新たに「熱中症特別警戒情報」が創設されたことから、次の質問を行う。

- ① 熱中症等での救急車出勤回数などは。
- ② 民間施設のクーリングシエルトの状況は。
- ③ クーリングシエルトの認知活動について。

答

① 今年4月から8月末までに94回出動し、年齢70歳以上が約50%を占めている。

② 5か所の店舗を指定し、市HPで公開。

③ 関係部署と連携し、さまざまな機会を通じて、市民等に周知を行う。

妹背橋などの改良について

問 大野地域の毛保川が河床にコンクリートを敷く工事や兩岸に立ち上がり工事・護岸補強工事がされた。そこで次の点を問う。

- ① 通水断面確保のためのスラブ方式^{※6}に改良は。
- ② 遠隔で確認できる水位計の活用状況は。

答

① 工事後も通水断面は確保しているが、橋梁の更新時期には検討したい。浚渫は適宜対応する。

② 避難情報発令等に活用するため今年度蓄積したデータを分析する。



山口 三成 議員

家庭ごみ収集運搬について



問 ① ネットがけのごみ置き場ではカラスによるごみの飛散がある。歩道や町内の路上に、簡易ごみボックスは設置できないか。

- ② ごみステーションが少なく持ち込みに苦労している人が多いが、ごみ集積場所は増やせないか。
- ③ 個別収集が可能ならあい収集対象者の要件見直しについて検討してはどうか。

答

① ごみの飛散防止対策は、収集後に速やかに片付けることが可能な、ネットや折りたたみ式の保管庫を活用していただきたい。

② 新設の基準は、10世帯以上の住民が使用すること、町内会長及び設置場所の隣接者の同意が得られていること、交差点や横断歩道、踏切などに近接していないこと、収集運搬業者の収集作業に支障がない場所などである。以上をもとに、町内会で話し合っており、市に協議していただきたい。





吉屋 智晴 議員

全世代で万全な 熱中症対策を



問

①幼稚園や保育園等での課題と今後の対策は。公私全ての園で対策は十分か。

②小中学校でのプールの授業の今後の方向性は。

③夏季休暇中の留守家庭児童会での課題は。

④高齢者の課題は。

⑤真夏の大規模災害発生時の課題と福祉避難所の体制整備はどうか。

答

①近年の猛暑で外遊びの機会が減少し体力低下が懸念される。現状の対策に加えミストシャワー導入など検討する。合同園長会で効果的な熱中症対策など情報共有を行う。②各校で対策を工夫しながら、実施時期の変更など検討していく。③外遊び可能な暑さ指

数内となる事が少なく、児童のストレスとなっている。涼しい時間の体育館利用など、学校側と調整していきたい。

④本年6月～8月、65歳以上の救急搬送者数は53名で、昨年から18名増加し過半数以上が屋内発症である。関係機関と協力し効果的な周知方法を考える。

⑤避難所となる小中学校体育館には空調設備がなく、要配慮者は空調設備のある部屋に避難する必要がある。福祉避難所は38施設あり、今年度避難訓練を行う予定である。

その他の質問

・農福連携の更なる推進を



坂本 和博 議員

平良地区開発に伴う 課題への適切な対応を



問

平良地区周辺の開発（新機能都市開発・未来物流産業団地造成・郡塚地区産業団地造成）における、次の課題と対応を問う。

①市道中央線の暗渠化

②交通量の予測と周辺道路の渋滞・安全対策

③防災対策

答

①市道堂垣内広池山線の整備に併せ、交差部の延長約150m区間の暗渠化は、令和8年度末の完了を目標に対応する。残る区間は状況を見て整備する。②新機能の交通量予測は一日当たり1万8600台、未来物流は1800台、郡塚地区は180台、コネクトパーキング宮島は30区画の駐車マスで、通過交通等

も考慮し、渋滞の発生は少ない道路設計になっている。造成・建築車両は、新設する市道の通行を避けるとともに、通学路などの特に注意すべき交差点などの情報を運転手に提供し、安全確保に努める。

また、市道上平良宮内幹線の歩道を整備する。完成後、周辺道路の交通状況を注視し、必要な対策を検討する。

③新機能の調整池完成令和6年12月末までは、仮設沈砂池・監視カメラの増設など必要な対策を講じる。未来物流・郡塚地区造成は調整池の工事を先行する。

その他の質問

・名誉市民条例の制定について

問

①ユマニチュードの普及・促進を。市では認知症サポーター養成を行っている。またキッズサポーターも増えている。養成講座に「ユマニチュード」を取り入れ、地域での講座や、市の職員にも知っていただき、子どもからお年寄りまで、共に支えあう社会づくりの推進をしてほしい。

②認知症のスクリーニングの更なる推進のため、非対面式で検査時間5分程度の、VRゴーグルを使った、脳の健康チェック「認知症機能セルフチェッカー」を本市でも検討を。

①ユマニチュードは、あなたのことを大切に思っているということを伝える、見る・話す・触れる・立つの4つを柱とした、認知症の人と接するうえで必要なコミュニケーション技法と認識。

認知症サポーターの養成や認知症の出前講座でも、ユマニチュードの技法を伝え、よりよい関わりができる人が増えるよう取り組む。

②認知症は、早期に見し適切な行動をとることで、進行を遅らせることができるため、引き続き、気軽に立ち寄れる商業施設等で「もの忘れ相談会」を実施していきたい。また、「認知症機能セルフチェッカー」については、今後、研究していきたい。

①ユマニチュードは、あなたのことを大切に思っているという



隅田 仁美 議員

認知症になっても 安心して暮らせる社会に





大畑 美紀 議員

パスピー廃止に伴い合理的配慮を



問 パスピー廃止で複雑になる新システムについて問う。

- ① 市民に必要な対応は。
- ② 高齢者や障がい者などへ合理的配慮を。

答 ① モビリーデイズ利用には、スマホ

かパソコン、広電の定期券販売窓口などで利用開始登録をする必要がある。利用媒体はスマホか専用ICカードで。車内で現金チャージができるようになるため、クレジットカードや銀行口座を登録し事前にチャージするか、現金の場合は広電の窓口などでチャージする。各地域での登録会開催を広電に要請し、市も協力したい。

② きめ細かく対応する

よつ広電に要請し、高齢者や障がい者対象の利用説明会を広電と共同して開催する。

交通機関	Paspy 取扱い終了後の乗車券システム
広電バス・電車	モビリーデイズ/イコカ
JR山陽本線	イコカやスイカなど交通系ICカード(変更なし)
宮島	JR 交通系ICカード(変更なし)
フェリー	松大 モビリーデイズ/交通系ICカード
市自主運行バス(路線定期運行)	モビリーデイズ
デマンドバス	現金(変更なし)

答弁をもとに作成

その他の質問

・米軍岩国基地へのCM V22オスプレイ配備計画について
・現行健康保険証が継続使用できるように



北野 久美 議員

小児医療体制の整備について



問 夜間・休日の小児救急の医療体制確保は本市の課題である。また、多世代サポートセンターへの小児科誘致も進んでいない。

答 休日には隣接市と協働し、小児科が在宅当番医となるよう調整している。夜間救急は医師の確保が難しい状況だが、JA病院と協議を続けていきたい。本市には夜間に子どもの急病に対応できる医療機関がない。子育て世帯の安心につながるため、夜間対応ができる小児科が開業できるように、市の支援制度を検討していきたい。

問 子育てしながら働きやすい環境に向けて保護者の急用や子どもが病気の際のサポート体制の拡充を望む声が増えている。本市の一時預かり保育や託児施設、病児・病後児保育は利用しやすい環境なのか。

答 多様なニーズに対応した保育サービス等の支援が重要だと認識している。保育園の一時預かりの充実を検討していきたい。併せて、こども誰でも通園制度の実施に向けて、保育士や園の体制確保を7年度より準備していく。病児・病後児保育は利用者の動向を踏まえ、医療機関等と調整していきたい。



徳原 光治 議員

本市の留守家庭児童会について



問 本市には17の留守家庭児童会と4の民間児童会があるが、近年共働き保護者の増加で留守家庭児童会が増えている。児童会運営の課題について問う。

- ① 留守家庭児童会の児童会動向は。
- ② 児童会指導者の充足数は。
- ③ 学校施設の使用についての課題は。
- ④ 児童会運営の課題は。

答 ① 近年、児童会の児童数は増加傾向にあり、過去3年間は毎年5%の増加率で、令和5年度が1945人、令和6年度が2055人で、110人増加している。今後も児童数の推移などを注視して受け皿の確保をしたい。

② 本市の公立、民間児童会とも国の基準を上回る支援員の配置を行っている。

③ 学校施設の使用は、今後児童数の推移を確認しながら必要に応じて学校側と施設の一時利用を協議し、引き続き連携を図りたい。

④ 現在策定中の次期子ども・子育て支援事業計画に伴う保護者アンケート調査結果などの意見を踏まえ、支援員の資質向上や施設等の環境整備や日々の活動内容の充実・運営のサービス向上に努めたい。

その他の質問

・今年10年目の「けん玉ワールドカップ廿日市」について



高橋みさ子 議員

JR3駅の無人化 について



問 JR阿品・前空・大野浦の3駅は駅員の固定配置を止め巡回対応となった。券売機はあるが、新幹線の切符や定期券が買えない券売機がある。また、発車時刻や乗り場等を表示する電光掲示板も機能していない。遅延情報も、以前は駅員の放送や電光掲示板で情報を得ていたが、現在は情報を得る手段がない。駅員の再配置を求めるのは無理にしても、それを補完する「みどりの券売機プラス」への転換や、電光掲示板の表示再開が望まれる。JR西日本に改善を求めるべきと思うがどうか。

答 JR駅は近年急速に無人化の動きが

進み、3駅は無人駅となった。阿品駅と大野浦駅に設置してある電光掲示板は、駅員が操作し表示を変更する仕様で、無人駅となった現在、表示ができない。しかし、年度内には両駅とも遠隔操作が可能な電光掲示板に更新すると聞いている。前空駅への設置については要望する。また、オペレーターによる案内が可能な「みどりの券売機プラス」の設置も要望している。無人駅化は全体的な動きであり、今後も広島県と連携し利便性を損なわないような改善を求めたい。

その他の質問
・学校における働き方改革について



水野 善丈 議員

教員の「事務的な業務量」削減にむけて



問 国や県・市が依頼したアンケートなどの書類は学校へ、年間何件届いているのか。

答 多い月で1日平均十数件。年間約200件となっている。その内、最も多いのは、市教委からの調査で、年間約130件。これら必要な調査ではあるが、回数を減らすことや、複数の調査を統合するなど、改善の余地があるか精査する。

問 統合するとはどうするのか。

答 複数ある調査を1回で盛り込んで行うなどタイミングを減らしていく。

問 事務的な業務量削減にむけた今後の取り組みについては。

答 本市の小中学校のストレスチェックにおいても、要因として最も高い項目は「事務的な業務量」である。これまで時間外勤務を縮減する取り組みは、「校務支援システム」の導入や「高速複合機や中学校採点システム導入」など行っている。月45時間以上の時間外勤務をしている教職員の割合も減少してきている。今後、よりよい学校教育を実現できるように必要な対策を講じたい。

その他の質問
・マイナ保険証への移行と資格確認書について
・スポーツを核としたまちづくりの検討状況について



堀田 憲幸 議員

次期廿日市市総合計画 均衡あるまちづくりを



問 ①シビックコアを中心に人口集積が進み地域格差が増大、是正に取り組めないか。

②市域全体の移動手段は改善されつつある。合併から20年を迎えようとしているが、各拠点間移動について料金の格差がある。均一化を目指すのか。

③林業においては、伐倒期をむかえている森林に対応策は。

④中山間地域の人口減をどう捉え対策を考えるのか。

答 ①多様な地域性を活かし、尊重し、その魅力を輝かせるため、地域を結ぶネットワークを重視。持続可能な社会のづくりを推進していく。

②地域公共交通政策の基本理念に沿って、社会情勢等を踏まえ、必要な時期に検討したい。

③森林環境譲与税を活用しながら、伐って、使って、植えて、育てる循環型林業を盛り込んでいく。

④中山間地域振興ビジョンにおいても、移住・定住の促進や住民が安心して暮らせる施策を盛り込む。



「木のまち はつかいち」市へ寄贈されたサッカーボール



向井 恵美 議員

個別避難計画への 取り組みの現状と課題



問 全国各地で大雨に
よる甚大な被害が
発生している。令和3
年災害対策基本法が改
正され、個別避難計画
書の策定が努力義務化
されている。そこで次
について問う。

① 支援者となる防災委
員、民生児童委員等の
内訳は。
② 高齢化する支援者の
確保など今後の課題は。

答 ① 70歳以上の高齢
者のみの世帯、障
がいのある人など避難
に支援が必要な方を対
象に「避難行動要支援
者名簿」を作成してい
る。支援者の多くは、
近隣の住民、親族、防
災組織などである。支
援者の抵抗感や負担の
軽減を図り支援者確保

に努める。

② 高齢化する中、支援
者の確保が大きな課題
であり、登録対象者の
対象要件の見直しに昨
年度から着手している。
**若年層で増加するオー
バードーズへの対策**

問 大麻などの違法薬
物に加え、昨今若
年者の市販薬等による
オーバードーズが急増
している。その実態把
握や啓発・対策をどう
考えているのか。

答 薬物乱用に関して
は、国・県からの
啓発ポスターやリーフ
レット等の掲示に加え
市ホームページ等を活
用して周知する。児童・
生徒は、保健の授業を
通じて学ぶ機会が確保
されている。



佐々木由華 議員

多様性のある性への 取り組みについて



問 「性と自分らしさ」
の扱いは、学習
指導要領に基づき配慮
して指導する方針だが、
性に関する教育が行き
過ぎや偏り過ぎになら
ぬよう心配の声がある。
特に諸外国での包括的
な性教育の影響や、ジ
ェンダー肯定医療に対
する後悔の事例が指摘
されており、日本にお
いても多様性の教育が
進みすぎないよう慎重
な対応が求められる。
多様性を尊重しつつ、
個々を認め合う心を育
む教育が必要と考える。
正しい理解を深めるた
め小さい時からの段階
的教育が重要と考える
がどうか。

答 学校では、児童生
徒の発達段階に応

じて人権尊重や個性を
大切にすることが重要
で、性の多様性につい
ても正しい理解を促し、
差別や偏見を防ぐため
の指導をしている。保
健の授業では、思春期
の身体の変化だけにな
く、個々の感情や考え
方の違いを自然なもの
として学び、自分らし
く生きることの重要性
が強調されている。ま
た、道徳の授業では、
多面的な視点で物事を
考え、他者の良さを認
め合うことを学ぶ。こ
れらの学習以外でも日
常生活や行事の中で、
一人一人の個性を尊重
し、誰もが大切にされ
るよう発達段階に応じ
た指導を行っている。

問 今年度の会派視察
で大阪府から委託
され身体、知的、精神、
発達障がい、難病患者
等を対象にした就労支
援施設を訪問した。そ
こで次について問う。

① 本市の障がいの者
の就労支援の現状を問う。
② 本市の障がいの者
の就労後のフォロー状況
を問う。
③ 本市の障がいの者
の就労支援に関する課題
を問う。

答 ① 障害福祉サービ
スには4種類あり
市内には就労継続支援
A型が2事業所、就労
継続支援B型が20事業
所ある。本市の支給決
定者は、就労継続支援
A型が67人、就労継続
支援B型が358人、就労



枇杷木正伸 議員

本市の障がいの者の就労 支援の在り方について



移行支援が27人、就労
定着支援は31人である。
また、国や県が市内の
「ひろしま西障がいの者
就業・生活支援センタ
ーもみじ」で就労・生
活支援を行っている。

② 就労後のフォローは、
就労移行支援等から企
業に就職された場合に、
就労定着支援の支給決
定を行い、就労継続を
支援している。また、
もみじの支援をつけた
障がいの者で企業への就
職件数は大竹市を合わ
せ、令和4年度は61件、
定着支援の件数は延べ
700件、定着率は81.6%。
③ 障がいの者と企業の求
める人材との要望が合
わず一般就労が困難な
場合もあるが今後とも
雇用促進に努めたい。



広畑裕一郎 議員

地域公共交通の一つ、
タクシー不足の解消を



問

近年、身近な移動手段であるタクシーの予約ができない。

①の予約ができない。さくらバス等とニーズが異なり、代替も難しく市民は困っている。

②地域主体の移動手段実現に取り組めないか。

③日本版ライドシェアへの市の考えは。

④日本版ライドシェアはタクシー事業者が実施主体で、不足する地域・曜日・時間帯に、2種免許を持たない運転手が自家用車を使い運送が可能となる。新制度として今後に期待している。

答

①日本版ライドシェアはタクシー事業者が実施主体で、不足する地域・曜日・時間帯に、2種免許を持たない運転手が自家用車を使い運送が可能となる。新制度として今後に期待している。

②地域主体の移動手段実現に取り組めないか。

③日本版ライドシェアはタクシー事業者が実施主体で、不足する地域・曜日・時間帯に、2種免許を持たない運転手が自家用車を使い運送が可能となる。新制度として今後に期待している。

④日本版ライドシェアはタクシー事業者が実施主体で、不足する地域・曜日・時間帯に、2種免許を持たない運転手が自家用車を使い運送が可能となる。新制度として今後に期待している。

⑤地域主体の移動手段確保は、今年度、先進自治体の事例を踏まえ

支援策を検討中。地域の主体性が鍵で、検討される地域団体と一緒に実現を図りたい。

有害鳥獣の対策強化を

問

有害鳥獣が増え、農作物被害や住宅地での危険が増している。被害防止や緩衝帯強化策として問う。

①防護柵設置補助額の引き上げは。

②補助対象外の小規模兼業農家も対象に。

③補助率は引き上げたが、上限も

あり自己負担が大きい10a未満の農地での利用を望む声も届いている。農作物の被害防止支援は重要であり、生産者の実情や他自治体補助制度を調査し、現制度の検証を行う。

答

①防護柵設置補助額の引き上げは。

②補助対象外の小規模兼業農家も対象に。

③補助率は引き上げたが、上限もあり自己負担が大きい10a未満の農地での利用を望む声も届いている。農作物の被害防止支援は重要であり、生産者の実情や他自治体補助制度を調査し、現制度の検証を行う。

用語説明

①ブルーカーボン (P3)

海藻など海の植物によって海中や海底に吸収・埋没されるCO2のこと。

②特定工場 (P5)

敷地面積9,000m²以上又は建築物の建築面積合計が3,000m²以上の製造業、ガス供給業、熱供給業、電気供給業（水力、地熱、太陽光発電所を除く。）

③給食費の公会計化 (P7)

学校給食費を市の会計に組み入れる「公会計制度」の導入により、保護者からの学校給食費の徴収・管理業務を市の行務として行うことで、教職員の業務負担の軽減を図るもの。

④クーリングシェルター (P9)

市町村が冷房設備を有する等の要件を満たす施設（市民センター、図書館等）を指定暑熱避難施設として指定した誰でも休息できる施設のこと。

⑤スラブ方式 (P9)

鉄筋コンクリート製の床板を用いる方式。

⑥VRゴーグル (P10)

コンピュータで作成された映像や音声などを現実世界のように体験できる眼鏡。

⑦認知症機能セルフチェッカー (P10)

VRゴーグルをのぞき込み、音声案内に従って検査を進める。答えだと思つものを見つめるだけで回答できる。

⑧オーバードーズ (P13)

薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や咳止めなどを、大量・頻回に摂取すること。

議員全員協議会

全議員に重要な取り組みの説明がありました

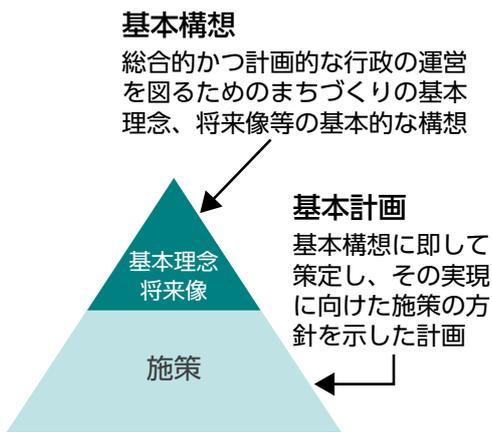
次期廿日市市総合計画の策定方針について

持続可能な未来に向けた、

新たな総合計画の策定へ

こうした状況の中、社会情勢の変化や多様化するニーズに的確に対応し、将来にわたり持続可能な市政運営を行うため、令和17年度を目標年次とする新たなまちづくり指針となる次期総合計画を策定します。

総合計画の構成



策定の基本的な考え方

次の考え方を軸に策定を進めます。

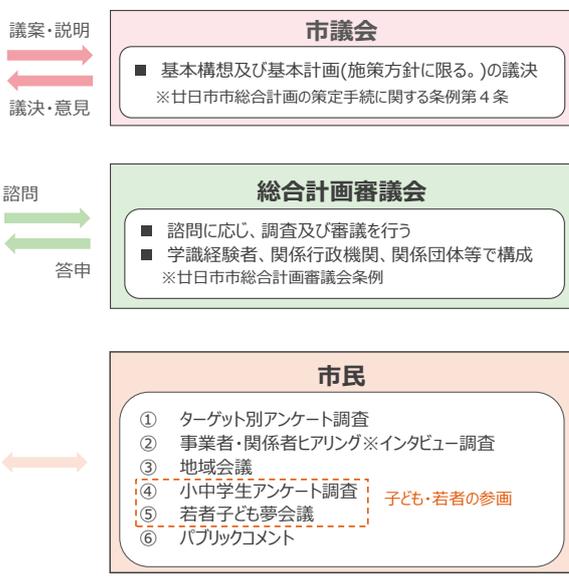
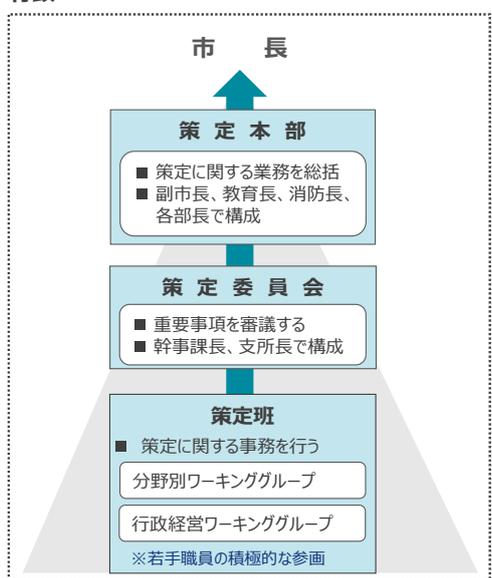
- ① 市民参画
- ② 分かりやすさ
- ③ 戦略性と適応性
- ④ 実効性
- ⑤ 個別計画との整合・一本化

市民参画の取り組み

- 令和6年度
 - ① ターゲット別アンケート調査 (8月～9月)
 - ② 事業者・関係者ヒアリング (7月～8月)
 - ③ 地域会議 (佐伯・吉和・宮島 8月～9月)
 - ④ 小中学生アンケート調査 (9月)
 - ⑤ 若者子ども夢会議 (9月～10月に全3回)
 - 令和7年度
 - ⑥ パブリックコメント (7月と11月の2回)

策定体制

行政



計画期間

令和8から12年度までを前期計画、令和13から17年度までを後期計画とする10年間

今後のスケジュール

7月に基本構想、11月に基本計画のパブリックコメントを実施し、12月定例議会の基本構想提案で議決する予定。

主なQ&A

Q これまでも、パブリックコメントでの市民意見が出ていく。しっかり意見が返るよう方策を考えているか。

A 5地域でしっかり説明をし、周知をした後にパブリックコメントを実施したい。

※パブリックコメント
行政が政策や計画などを策定する際、案や関連資料を公表して市民意見を募集し、その意見を考慮して意思決定などを行う制度。

● 議会運営委員会視察報告

本議会が取り組んでいる「議会改革」について先進地3市に、令和6年7月4、5日の日程で行政視察を行いました。

① 愛知県 岩倉市

・市議会サポーター制度

平成30年に「岩倉市議会サポーター」を設置し、議会運営に関する要望提言を広く市民から徴収し、議会運営に反映させている。

・ふれあいトークについて

平成23年「岩倉市議会ふれあいトーク（意見交換会）実施要綱」を制定し、年に2回程度市民に報告、意見を聴く会を実施。



愛知県 岩倉市

② 静岡県 掛川市

・かけがわ・話・輪・和・ミーティングについて

令和2年度から「出前講座」をスタートしたが、市民に議会をより身近に感じてもらうため、令和6年度より名称を「かけがわ・話・輪・和・ミーティング」に改称し、実施している。



静岡県 掛川市

③ 静岡県 菊川市

・議長選挙における所信表明演説について

菊川市議会は、議会改革の取り組みの一環として正副議長選挙における「所信表明」を実施している。

姉妹都市ハワイ郡へ
議会からも視察訪問団員派遣

4月15日、ハワイ郡からミッチ・ロス郡長と27人の使節団を迎え、日南市・ハワイ郡との姉妹都市調印式が行われました。それを受け、市議会から9月28日ハワイ郡を訪問しました。

今回は、答礼だけでなく、議会としても今後のハワイ郡との交流事業の内容などを審査する必要があるとして、議長に加え、主たる交流分野となり得る教育・商工業観光を所管する文教厚生常任委員会及び環境産業常任委員会から1人ずつ派遣し、議会事務局員1人が随行しました。

訪問団員

- 市議会議長 新田 茂美
- 環境産業常任委員会 井上佐智子
- 文教厚生常任委員会 梅田 洋一
- 議会事務局員 1人

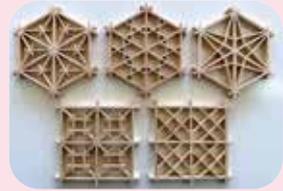
令和5年度決算認定審査を
決算特別委員会へ付託

令和5年度の決算認定は、9月26日の本会議最終日に決算特別委員会に審査を付託し、委員長に田中憲次議員、副委員長に山崎英治議員を選任しました。

特別委員会は、10月8日、9日及び17日に開催し、12月定例会初日の本会議での委員長報告後、全議員による認定の裁決を行います。選任された委員は次のとおりです。

- 委員長 田中 憲次（無会派の会）
- 副委員長 山崎 英治（公明党）
- 委員 佐々木由華（クラブみらい）
- 濱本 紀洋（新政クラブ）
- 坂本 和博（新政クラブ）
- 山下竜太郎（無会派の会）
- 山口 三成（クラブみらい）
- 井上佐智子（新政クラブ）
- 徳原 光治（成蹊21）
- 高橋みさ子（成蹊21）

キラリ! はつかいちの高校生



宮島工業高等学校

(機械科・インテリア科)

本校の機械科、インテリア科は、はつこいマルシェ（宮島口旅客ターミナル）でワークショップを定期的で開催しております。この活動も地域貢献活動であり、学校PRも兼ねております。インテリア科のブースでは、組子細工コースター作成、機械科のブースでは、色変わりコマの製作体験や実習で制作した作品の体験を行うことができます。ぜひご来場ください。

次回 12月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	11/25	26	27	28	29	30
12/1	12/2	3	4	5	6	7
		本会議				
		(議案説明)	(一般質問)	(一般質問)	(一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
		委員会				
				(予備日)		
15	16	17	18	19	20	21
				本会議		
				(委員長報告等)		
22	23	24	25	26	27	28

9：30開会（変更の場合があります）
本会議はインターネット中継（手話通訳の同時配信）を行っております。

本会議の視聴は、
パソコン・スマホが便利♪



動画配信

録画映像も公開しておりますので、見逃した方もご覧になれます♪

ご意見をお聞かせください。



議会へのご意見はホームページの問い合わせ・意見送信フォームをご利用ください。

議会を見学しよう。

廿日市市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁北側2階の議会事務局窓口までお越し下さい。

議会に参加しよう。

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

広報広聴特別委員
山崎 英治

今年は35℃を越す猛暑の中、7/15（全体会）、8/7、8、9（地域ごと）に議会報告会を行い、多くの方にお越しいただき誠にありがとうございました。全体会のメインテーマを「予算」、地域ごとの報告会では地域に沿ったテーマを選択して行いました。

皆様からのご意見を聞く中、本市の事業に大変興味を持っていただいていることを感じました。会場でいただいたご意見をまとめ、広報広聴特別委員会で「さくら」を通じて皆様に報告し、今後の活動に反映してまいります。

廿日市市議会ホームページ

廿日市市議会

検索

目の不自由な人のため

- 音声読み上げのための「市議会広報さくら」テキスト版をホームページに掲載しています。
- 「市議会広報さくら」のデジター図書、点訳本があります。 ■問い合わせ 社会福祉協議会 TEL20-0294



市議会広報は、植物油インキを使用しています。